

おうえめ 市議会だより

No. 266
令和6年(2024年)2月15日
発行/青梅市議会
電話番号/0428-22-1111(代)

主な内容

- 12月定例会のあらまし……………1
- 市長提出議案の主な内容、議会日誌……………1
- 一般質問……………2~5
- 審議された議案および陳情の議決結果……………6
- 議員提出議案、特別委員会から……………6
- 全員協議会から、災害対応訓練、普通救命講習……………6
- 令和6年2月定例会会議予定……………6

令和5年青梅市議会定例会 12月定例議会

大勢待市長所信表明演説

「青梅市に住んでいて本当に良かった」と思えるようなまちづくりを推進し、「誰もが憧れるまち 青梅」を目指す



梅の公園

令和5年12月定例議会は、12月7日から27日までの21日間の期間で行われました。
本会議初日には、令和5年11月30日に新たに市長に就任した大勢待市長が、これからの市政運営について所信を表明しました。
一般質問は、12月21日、22日および25日の3日間にわたって行われ、21人の議員が登壇し、市政に関して市長、教育長らと活発な議論を交わしました(2~5面に要旨を掲載)。
12月定例議会上程された市長提出議案は、補正予算5件、条例10件、契約1件、財産1件、人事1件、その他13件の全31件、議員提出議案が1件でいずれも原案どおり可決または同意されました。
また、陳情2件が審議され、趣旨採択1件、不採択1件となりました(6面に掲載)。

市長提出議案の主な内容

■令和5年度青梅市一般会計補正予算(第6・7号)
歳入歳出予算にそれぞれ18億2495万9千円を追加し、その総額を618億2835万8千円とする。

【主なもの】

- ▽自立支援給付経費の増
- ▽子ども食堂推進事業補助金の増
- ▽電力・ガス・食料品等価格高騰支援給付金の増(住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり7万円を支給)
- ▽物価高騰支援給付金等の増(介護・障害福祉サービス事業所、子ども食堂、乳児院、児童養護施設、民間学童保育所、幼児教育・保育施設、医療機関等に対し給付金を支給)
- ▽学校給食費の減(学校給食費を2か月分全額免除)

■青梅市市税条例の一部を改正する条例(施行日令和6年4月1日)
令和5年度までとされている都市計画税の税率に関する特例措置について、その適用期間を延長する。

■青梅市印鑑条例の一部を改正する条例(施行日令和6年1月1日)
市民サービスの更なる向上を図るため、窓口における印鑑登録証明書の交付申請の際、個人番号カードを提示して自ら申請する場合は、印鑑登録の提示を不要とする。

■青梅市事務手数料条例の一部を改正する条例(施行日令和6年3月1日)
地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正にもとづき、事務手数料を徴収する事項に、戸籍法の一部を改正する法律の施行により開始する事務を加える。

【事務手数料を徴収する事項に追加するもの】

徴収する事項	金額	徴収時期
戸籍証明書の広域交付	450円	交付時
戸籍電子証明書提供用識別符号の発行	400円	交付時
除籍証明書の広域交付	750円	交付時
除籍電子証明書提供用識別符号の発行	700円	交付時
届書等情報内容証明書の交付	350円	交付時
届書等情報内容証明書の閲覧	350円	閲覧後

■物品の買入れについて

消防自動車8台
【契約の方法】
指名競争入札
【契約金額】
1億1489万5千円
【契約の相手方】
日本機械工業株式会社
本社営業部

■指定管理者の指定について(可決された市内各施設の指定管理者)

施設名	指定管理者	指定期間
青梅市学童保育所(第一・三・五・六、今井、藤橋、吹上)	株式会社こどもの森	令和6年4月1日~令和11年3月31日
青梅市学童保育所(第二・四・七、成木、友田)	社会福祉法人青梅市社会福祉協議会	令和6年4月1日~令和11年3月31日
青梅市学童保育所(河辺、霞台、若草)	知創株式会社	令和6年4月1日~令和11年3月31日
青梅市学童保育所(新町)	株式会社モアスマイルプロジェクト	令和6年4月1日~令和11年3月31日
青梅市自立センター	社会福祉法人青梅市社会福祉事業団	令和6年4月1日~令和11年3月31日
青梅市民斎場 青梅市火葬場	富士建物管理・富士建設工業共同体【構成団体】 富士建物管理株式会社、富士建設工業株式会社	令和6年4月1日~令和11年3月31日
青梅市総合体育館、永山公園総合運動場、東原公園水泳場、わかぐさ公園子どもプール、沢井市民センタープール、市民球技場、わかぐさ公園野球場、ちがむら球技場、東原公園球技場、友田レクリエーション広場、青梅スタジアム	青梅市スポーツ施設運営パートナーズ【構成団体】 株式会社フクシ・エンタープライズ、株式会社NTTファシリティーズ	令和6年4月1日~令和11年3月31日

議会日誌

12月定例議会

- 11月
22日 議会運営委員会
青梅市議会災害対応訓練
- 12月
1日 議会運営委員会
- 7日 本会議(開議、会議録署名議員の指名、議会期間の宣告、諸報告、市長所信表明演説、議案審議、陳情審議)
- 11日 議会運営委員会
- 12日 総務企画委員会
環境建設委員会
福祉文教委員会
- 13日 文化複合施設整備特別委員会
- 14日 予算決算委員会
全員協議会
- 15日 議員研修会(普通救命講習会)
- 21日 本会議(一般質問)
- 22日 本会議(一般質問)
- 25日 議会運営委員会
本会議(一般質問、諸報告、議案審議)
総務企画委員会
環境建設委員会
福祉文教委員会
- 26日 総合病院建替特別委員会
議会運営委員会
本会議(委員会議案審査報告、委員会陳情審査報告、閉議)
- 27日 予算決算委員会

一般質問

青梅市議会ホームページの議会映像配信にて一般質問のすべての内容を映像で視聴いただけます。



子宮頸がんの予防について問う

湖城 宣子議員 (公明)



議員 ①子宮頸がん検診の実施状況、受診勧奨について伺う。

②受診率の向上に向けての取組、検診方法の考えは。

③HPVワクチンの接種状況、接種勧奨等について伺う。また、学校との連携は。

④男性のHPVワクチン接種の助成について、市の考えを伺う。
市長 ①国の指針に基づき実施している。受診者数は、近年2千人前後で推移している。広報HP等による周知や、成人保健事業の御案内にがん検診のお知らせを合本し全戸配布している。

②他市の先進事例を直ちに導入するのは難しいと考える。国や他市の動向を注視する。

③令和5年度上半期の接種完了者は、2・5%である。未接種者へ予診票や勧奨ハガキを送付した。学校との連携は、検討していく。

子ども誰でも通園制度について問う

議員 ①制度創設の経緯、モデル事業の状況、試行的事業の概要について伺う。

②市の一時預かり事業、都の多様な他者との関わり合いの創出事業について伺う。子ども誰でも通園制度との違いは。
③一時預かり事業以外の事業実施にかかる市の考えは。
市長 ①国が次元の異なる少子化対策の実現に向けて、本年6月に創設した。今年度は一部の自治体でモデル事業を実施した。試行的事業は、自治体を公募により選定し、人口規模に応じた補助基準額を設けて、令和6年度に実施される予定である。
②一時預かり事業は、家庭での保育が一次的に困難となった乳幼児を、保育所等で預かる事業である。多様な他者との関わり合いの創出事業は、子どもが多様な他者との関わり合いの中で様々な体験を通じて、非認知能力の向上等、健全な成長を図ることを目的とした事業である。事業目的、利用日数、市の負担割合にそれぞれ違いがある。
③実施に向け研究していく。

幼稚園における法定代理受領について問う

議員 ①私立幼稚園等園児保護者補助制度の概要について伺う。
②幼稚園協会や保護者からの声の考えについて伺う。
市長 ①私立幼稚園等に通う子どもの保護者に対し支給する。

東京都分は、保育料、教材費、施設維持費を補助対象とし、保護者の所得階層に応じ、法定代理受領という方法で、市から幼稚園等に直接支払う。青梅市分

議員名の()内の表示は、党派名または党派名です。
 (自民) 自由民主党
 (公明) 公明党
 (立憲) 立憲民主党
 (共産) 日本共産党
 (維新) 日本維新の会
 (無所属) 無所属
 (福) 福井県議会
 (山) 山梨県議会
 (青) 青森県議会
 (宮) 宮城県議会
 (茨) 茨城県議会
 (栃) 栃木県議会
 (群馬) 群馬県議会
 (埼玉) 埼玉県議会
 (千葉) 千葉県議会
 (東京) 東京都議会
 (神奈川) 神奈川県議会
 (新潟) 新潟県議会
 (富山) 富山県議会
 (石川) 石川県議会
 (福井) 福井県議会
 (山梨) 山梨県議会
 (長野) 長野県議会
 (岐阜) 岐阜県議会
 (愛知) 愛知県議会
 (三重) 三重県議会
 (滋賀) 滋賀県議会
 (京都) 京都府議会
 (大阪) 大阪府議会
 (兵庫) 兵庫県議会
 (奈良) 奈良県議会
 (和歌山) 和歌山県議会
 (徳島) 徳島県議会
 (香川) 香川県議会
 (高松) 高松市議会
 (愛媛) 愛媛県議会
 (高知) 高知県議会
 (福岡) 福岡県議会
 (佐賀) 佐賀県議会
 (長門) 長門県議会
 (山口) 山口県議会
 (広島) 広島県議会
 (岡山) 岡山県議会
 (香取) 香取県議会
 (茨城) 茨城県議会
 (栃木) 栃木県議会
 (群馬) 群馬県議会
 (埼玉) 埼玉県議会
 (千葉) 千葉県議会
 (東京) 東京都議会
 (神奈川) 神奈川県議会
 (新潟) 新潟県議会
 (富山) 富山県議会
 (石川) 石川県議会
 (福井) 福井県議会
 (山梨) 山梨県議会
 (長野) 長野県議会
 (岐阜) 岐阜県議会
 (愛知) 愛知県議会
 (三重) 三重県議会
 (滋賀) 滋賀県議会
 (京都) 京都府議会
 (大阪) 大阪府議会
 (兵庫) 兵庫県議会
 (奈良) 奈良県議会
 (和歌山) 和歌山県議会
 (徳島) 徳島県議会
 (香川) 香川県議会
 (高松) 高松市議会
 (愛媛) 愛媛県議会
 (高知) 高知県議会
 (福岡) 福岡県議会
 (佐賀) 佐賀県議会
 (長門) 長門県議会
 (山口) 山口県議会
 (広島) 広島県議会
 (岡山) 岡山県議会

給食費無償化について問う

目黒 えり議員 (都民ファーストの会)



議員 ①第一子から学校給食費無償化を実施する場合の費用は、都内の他自治体の実施状況は。

②無償化の財源は。
③無償化により給食の質が落ちることのないようにしていきたいが、見解は。また、地産地消の取組、食育指導について伺う。
④いつから実施するのか。

教育長 ①年間約3億9200万円の見込みである。都内では小・中学校とも無償または補助が20区1市1町1村、第二子以降は無償が2区、第三子以降は無償が1市である。

③質が落ちることは切ない。食材は、市の基準により市内産を優先的に使用している。食材の旬を感じる料理や行事食、郷土料理などを取り入れ、献立表や給食だ

より等で発信し、栄養士による食育授業や食指導などを行っている。
市長 ②多額の費用が継続的に必要となるため、財源について検討を進めていく。
④他の自治体と与える影響、財源の確保、都の学校給食費の支援制度の動向などを勘案し、早期実現に向けて取り組む。

市内スポーツ施設整備拡充について問う

議員 ①市内の屋外スポーツ施設およびナイター施設の数は。

②市民球技場のテニスコートを10面に戻してほしいが、見解は。

③サッカー場、屋外バスケットボール場の整備について見解は。
教育長 ①サッカー場3か所、野球場6か所11面、テニスコート5か所18面で、ナイター設備は4か所6施設に設置している。

②市議会の意見を受けて、利用者との協議し、代替として青梅スタジアムの改修を行った。この経緯を踏まえ、10面に戻す考えはない。

③サッカー場の新設は、今後、青梅市公共施設等総合管理計画および青梅市スポーツ施設ストック適正化計画との整合性を図り、検討していく。屋外バスケットボール場の設置は、スポーツ施設としては難しいものと考えている。

ペットとの共存社会について問う

議員 ①飼い主のいない猫対策事業、啓発、課題について伺う。
②ボランティア団体への補助金を増額すべきと考えるが、見解は。
③飼い犬の登録数、多摩地域の公営ドッグランの設置状況は。本市で市営ドッグランを設置しては。

市長 ①飼い主のいない猫を保護し、譲渡等を行うことで、市民の快適な生活環境の保持を図ることを目的とし、ボランティア団体と協働で取り組んでいる。里親会等を通じ、5年間で628頭譲渡776頭に不妊去勢手術を施し、

講演会、映画上映会等を開催し、啓発に取り組んだ。ボランティアの減少、糞尿被害、活動の輪が広がらない等の課題がある。
②実情を伺い検討していく。
③令和4年度末現在の市内の登録数は6777頭である。多摩地域で10か所の公営ドッグランがある。設置については、引き続き検討していく。

市民意見への対応について問う

中野 芳則議員 (自民)



議員 ①下校時の子どもたちの声による見守り放送や除夜の鐘の音について、市長はどう捉え、対応するか伺う。

②市民意見に適切に対応するために、意見審査委員会などを設置し、意見聴取する方法が有効と考えるかどうか。

市長 ①下校時の見守り放送は、児童の安全を地域で見守るものであり、必要と考えている。除夜の鐘は大晦日の年中行事であり、市民の暮らしに根づいており、生活の時間帯は多様であり、配慮は必要と考える。意見等には適切に対応している。

②市民からの要望や苦情は、「市長への手紙」、「メール版市民の声」などで受け付けており、私が目を通し、迅速かつ適切に対応している。その他、各種無料相談の体制を整えている。意見審査委員会は、現在、設置までは考えていないが、生活様式の多様化を踏まえ、課題として捉えるとともに、今後も丁寧な対応に努めていく。

給食費の無償化について問う

議員 ①第一子、第二子から無償化する際の想定人数、予算は。
②第一子から無償化することのこただが、具体的にいつから、どのような形で実施するのか伺う。
教育長 ①第一子からの場合は8187人、予算額は約3億9200万円、市立校在籍の第二子からの場合は、2457人、約1億2千万円と見込んでいる。
市長 ②他の自治体と与える影響、財源の確保、都の学校給食費の支援制度の動向などを勘案し、早期実現に向けて取り組む。

新田山公園の有効活用について問う

山田 紀之議員 (自民)



議員 ①新田山公園の利用者数、園内ログハウスの設置目的、利用状況、遊具およびベンチの設置状況について伺う。

②ログハウスのイベント等活用、遊具更新時の住民意見聴取、樹木の剪定、ベンチ増設の考えは。
③指定管理者制度を導入しては。
④利用率向上に資する整備を。
市長 ①昨年度の利用者は2万4568人であった。設置目的は「学習の場として中心的な活用を行うこと」、「公園の四季などの写真や絵の展示会等の実施による活用を図ること」である。平日5・15人、休日10・15人程度の小学生等が利用。授乳スペースやトイレの利用も少なくない。砂場1か所、ブランコ1基、複合遊具1基、健康遊具7基、ベンチ16基を備えている。

②ログハウスでは、教室や演奏会などを開催している。今後、新たな活用も検討していく。遊具の更新時には、アンケート調査などを行い対応している。樹木剪定等は、補助金などの財源確保に努めるとともに、効率的な業務を心がけていく。ベンチの増設は、自然景観の保全などに配慮し、利用者や地域住民の意見を伺い検討していく。

③民間活力を取り入れた手法による魅力的な公園管理に取り組んでいく。

④来場者の利用促進に向けては、駐車場の増設や、地域住民の理解が必要である。意見を伺いながら効果的で魅力と活気ある公園整備ができるよう進めていく。

「ゼロカーボンシティの実現」における具体的な施策について問う

山崎 哲男議員 (自民)



議員 ①市内からのCO2の排出状況は。

②ゼロカーボンシティの実現に向けた市の取組内容およびCO2排出量の削減実績を伺う。
③小水力発電設置の可能性は。
市長 ①2020年度の排出量は、約46万トンで、部門別の排出割合は産業15%、民生56%、運輸26%、廃棄物3%となっている。

②令和4年度を「脱炭素元年」と位置づけ、市内の複数事業者と協定を締結し、CO2排出量の削減および再生可能エネルギーの導入等を連携して取り組んでいる。庁用自動車を電気自動車やプラグインハイブリッド自動車等に更新するとともに、急速充電設備を設置し、市民や観光客等の利用にも配慮した。職員向けの取組では、研修会やエコアクション等の意識改革に資する施策を実施した。市民への直接支援策としては、省エネルギー住宅改修補助金を創設した。現在、次期「環境基本計画」および「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」等の策定を進めており、より具体的な実施施策を位置づけていく。2020年度削減実績は、2010年度比で目標数値を大きく上回る約19・3%の削減となった。

③設置場所および運営方式など様々な課題も想定される。再生可能エネルギーの導入等を位置づける「環境基本計画」等を改定する中で、実施の可能性について検討していく。

不登校児童・生徒の支援について問う

長谷川 真弓 議員 (公明)



議員 ①学びの場の確保、相談窓口の現状と課題について問う。②学びの多様な学校について、どのように取り組むのか。③相談窓口の拡充、保護者への情報提供を強化する必要があると思うが、見解を伺う。

④フリースクールへの支援について、教育長の見解を伺う。

教育長 ①登校支援室の指導員等による訪問支援のほか、教育支援センター「ふれあい学級」には分室を設置した。教育相談所では、資格を有する者が相談に応じている。相談件数が非常に多く、心理士の相談業務が集中している点が課題である。

②視察を行い、先進的な取組内容を学んできた。設置についての研究や、新たな不登校支援策の拡充について検討している。③今後、他自治体の取組状況についても調査し、研究していく。④支援について検討していく。

乳幼児健診の拡充について問う

議員 ①市の3回の乳幼児健診の受診率および内容を伺う。

②新生児訪問事業の状況および1か月健診実施について市の考えを伺う。

③発達障害の子どもの早期発見に向けた5歳児健診の実施について、市の考えを伺う。

市長 ①11月末現在の受診率および内容は、3〜4か月健診は97.3%で、発育・発達確認、予防接種や離乳の開始に向けての指導を、1歳6か月健診は、

94.0%で、発達の状況、異常の有無の診察による障害の早期発見や歯科健診を、3歳児健診は、90.0%で、総合的な健診、保護者への支援を行っている。

②本年3月より、すべての新生児を対象とし、保健師などが訪問して、発育・栄養・生活環境・疾病等の相談・指導を行い、必要に応じ、産後ケア事業の案内もしている。1か月健診は、任意で自費負担のため、経済的な負担の軽減が必要である。今後、検討していく。

③5歳児健診の実施については、情報収集に努め、実施を視野に課題を整理していく。

議員 ①公共交通の充実について、市長の基本的な考えを伺う。②グリーンスローモビリティの実証運行の継続、他の地域での具体化について伺う。③新たな公共交通の導入には、公共施設の利用促進等の視点も必要であると考えがどうか。④交通事業者の実情は、協定の締結等を検討すべきでは。

「コミュニケーションバス導入の真剣な検討を」新市長に問う

井上 たかし 議員 (共産)



議員 ①公共交通の充実について、市長の基本的な考えを伺う。②グリーンスローモビリティの実証運行の継続、他の地域での具体化について伺う。③新たな公共交通の導入には、公共施設の利用促進等の視点も必要であると考えがどうか。④交通事業者の実情は、協定の締結等を検討すべきでは。

市長 ①交通事業者と連携し、新たな公共交通の導入を進め、市民の移動手段確保に取り組む。②来年度の実証運行、その後の本格運行に向け、適切な運行ルートや運賃等を検討する。地域ごとの課題等を踏まえ、既存の公共交通と新たな移動手段の最適な組み合わせを構築していく。③公共施設へのアクセスが容易になることで、利便性が向上し、利用促進が図られると考える。④運転手確保の課題に取り組ん

公共施設「削減ありき」の計画は見直しを

議員 ①公共施設等総合管理計画の見直しの予定、国の指針で求められている内容を伺う。

②計画の進捗状況について伺う。③「再編モデルA」の文化交流センターの現在の床面積は。④計画の取組の評価を伺う。

⑤床面積削減の数値目標を掲げることを見直す必要があると思うが、今後、多角的な観点をどのように反映させていくのか伺う。

市長 ①データの時点修正を済ませ、令和6年2月定例議会にて報告を予定している。国からは、「脱炭素化の推進方針」の記載を設けるよう示されている。②沢井および小曾木保健福祉センター、釜の淵公園水泳場等を廃止し、また市民会館、釜の淵市民館等を廃止して文化交流センターとして統合し、全体の床面積の約1.84%を削減した。③約3120㎡である。④中長期的な視点に立つて、計画の推進が図られている。⑤国の指針に基づき改定する。⑥様々な機会を通して市民からの意見を聴き、取り組んでいく。

オスプレイの飛行停止と撤去を求めることについて問う

議員 ①11月29日のオスプレイ墜落事故の市の対応を伺う。②米軍と政府に対し国民への謝罪、適切な情報提供、飛行停止を求めることが必要と考えるが、具体的な情報提供、飛行停止の訓練中止を求めるべきでは。

市長 ①防衛省から情報を受け、安全性が確認されるまでの飛行停止、原因究明、点検整備強化、速やかな情報提供について、米軍、政府へ要請文を提出した。②政府は、関係自治体に謝罪し

たどの報道があった。市からも同様に要請を行っている。③飛行運用は、日米間の合意により実施されるものであるが、米軍、政府に対しては、訓練等における安全確保の徹底を強く求めている。

市長選を終えて市長の考えを伺う

議員 ①立候補会見での「議員を12年務めて限界を感じた」という発言および立候補の真意は、何がどう変わるのか伺う。②市長が考える4年後の青梅市の姿は。

市長 ①改めて、自ら市政の先頭に立ち、今一度、本市の可能性を捉え直して、その潜在能力を開花させたいと思っている。②新市長となり、青梅が変わるという機運の高まりを受け、オール青梅で取り組んでいく。③学校給食費の無償化、移住者の増、新市民ホールの建設の実現、公共交通の問題を重点的に取り組む。

議員 ①ゼロカーボンシティ宣言の方針について伺う。②リサイクルセンターの改修による市民サービス向上の施策は、評価と今後の取組を伺う。③ゼロカーボンシティの実現やごみ減量とリサイクル推進における情報発信の重要性を伺う。

市長 ①宣言では、青梅の魅力ある地域資源を未来へ引き継いでいくこと、市民、事業者、行政の一体となった取組を通じて実現を目指すとしており、ぶれ

ることなく取り組んでいく。②安定的な資源化設備が整い、新たな処理、収集の体制について見直しを検討していく。雑がみの回収量の増加やエコバッグ配布時に行ったアンケートから市民の意識の変化に効果があったと捉えている。今後、継続や新たな取組を検討していく。

市が目指すゼロカーボンシティ推進について問う

議員 ①ゼロカーボンシティ宣言の推進状況を伺う。②Ome Blueの今後の活用や展開について伺う。観光分野におけるDX推進、観光動画の活用、また、公共交通対策と観光客の移動ニーズに対する今後の取組について伺う。③シティプロモーションに対する市長の意気込みを伺う。

市長 ①地域への関係意欲を高める取組であると捉えている。地域イベントなど、人材が集う場を活かし、拡充し、アピールすることで、新たな未来の創造へとつなげていきたい。②引き続きOme Blueの認知度を高め、使用事例を増やしていく。DXの取組効果により、人材などの地域資源をより効果的かつ効率的に活用し、シティプロモーションの展開をさらに拡充していく。動画作成に引き続き意欲的に取り組んでいく。需要に応じた運行サービスの提供に交通事業者と連携し取り組んでいく。

③市民が輝いている場を動画などで内外に発信していく。いろいろな人に、青梅市は面白いと伝えていく。※他の質問：明星大学青梅キャンパスエリアの利活用について問う

山林開発を伴うメガソーラー発電事業について

迫田 晃樹 議員 (自民)



議員 ①今井一丁目のメガソーラー計画について伺う。大規模な山林開発を伴う事業について市長の認識は。②飯能市阿須山中地区の開発事業に関する同市からの情報提供、本市への影響、飯能市に対する意見等の表明は。③大規模な山林開発における隣接自治体との取り決めについて伺う。また、害獣の捕獲等における隣接自治体間連携は。④環境基本条例にもつき環境への配慮に必要な事項を定める規則が存在しないが、市長の見解は。制定する場合の期限は。

市長 ①電気事業者がメガソーラーを設置する計画として国の認定を受けていたものであり、認定の失効制度により、計画は消滅したものと捉えている。環境に影響を及ぼす事業は、環境基本計画の森林保全や総合長期計画、都市計画マスタープラン等に整合しないものと考えられる。②飯能市から当該計画、環境への影響評価等の情報提供はなかった。本市では、情報を持ち合わせていないため、影響について判断できない。意見、要望等を表明したことはない。③取り決めのないが、各法令等の手続の中で、情報共有が図られるものと認識している。害獣の捕獲等は、飯能市と協定を締結し実施、協定のない隣接自治体とも協力して実施している。④規則を定めるべきと捉えている。制定の期限は、現時点で示しできる状況にない。

アユ釣り振興策に関する取組について問う

茂木 亮輔 議員 (維新)



議員 ①アユ釣り客の減少やアユの状況についての認識を伺う。②市内における内水面事業の主体である奥多摩漁業協同組合との連携強化について伺う。③アユの天然遡上を促進するため、東京都水道局に対し、ダム放流のタイミングの調整について掛け合っているか。④市内における多摩川付近の駐車場の確保を行うべきであると思うが、見解は。

市長 ①平成30年との比較で、令和4年のアユ遊漁券の年券枚数は約6割減、令和5年の多摩川へのアユ遡上数は約8割減となっており、アユ釣り客とアユの数の減少は認識している。②東京都では、多摩地区の釣り場の整備と特産品の開発、生産・販売体制の確立などを目指し、内水面漁業振興対策事業を行っており、都が4分の3、市区町村が8分の1を補助している。市では、補助金申請手続などの事務的な点を含めて支援を行ってきた。今後、連携を強化し、内水面漁業振興を図っていく。③ダムの放流については、都および奥多摩町と調整を図る必要がある。また、羽村取水堰にある魚道は国土交通省が管理しており、土砂の撤去なども重要となる。今後も、奥多摩漁業協同組合と相談し、都や奥多摩町、国土交通省と調整を図っていく。④用地の確保や観光客の利用調整などが必要である。今後も先行事例を参考に研究していく。

所信表明について問う

阿部 悦博 議員 (自民)



議員 ①学校給食費無償化の財源の根拠、実施期間、対象および理由について伺う。②国や東京都の見解をどう捉えているか。③市長会や西多摩地域広域行政圏の一員としての見解を伺う。④市長の交通政策は、市のこれまでのコミュニケーションバスの考え方を含めて、地域公共交通計画の方向性と相違があるか。⑤グリーンスローモビリティについて、市長の見解を伺う。⑥来年度の重要施策にすべきと思うが、考えは。

市長 ①都の動向を勘案して検討し、早期の実施に向けて取り組む。青梅市の歴史、文化等を引き継いでいく次世代を育てるため、子育て世帯を支援したい。②国では、実態調査を行い、具体的方策を検討、東京都の支援制度内容は未定であり、動向を注視していく。③市長会等を通じて要望していくことは必要であると考えが、政策は、各自自治体で立案・実行していくべきものと捉えている。④コミュニケーションバスではなく、地域特性に柔軟に対応できる新たな移動手段の導入を検討するという方向性と相違はない。⑤実証運行の利用状況から、一定の需要があるものと捉えている。適切な運行ルートや運賃等を検討していきたい。⑥新たな公共交通の選択肢の一つとして、来年度の実証運行、その先の本格運行の実施に向けて、引き続き着実に取り組む。

所信表明を受けて
今後のBOAT RACE
多摩川の売上げについて



山田 敏夫議員
(自民)



議員 ①ボートレース全体およびボートレース多摩川の本市の売上状況について伺う。青梅市開催の高グレード競走の売上げと総売上げに占める割合は。

②売上げ確保のためのトップセールスの考えについて伺う。
③現時点におけるモーターボート競走事業からの繰入金金の具体的な活用方法について伺う。用途廃止となった施設の解体に繰入金を活用できないか。

市長 ①令和4年度の全体売上げは、2兆4千億円を記録し、2年連続で過去最高を更新している。ボートレース多摩川の本市の売上げは、712億円となり、堅調に推移している。令和4年度開催の「プレミアムG I ヤングダービー競走」の売上げは76億円余で、総売上の10.7%を占めている。

②私自ら、積極的に関係団体との意見交換を行い、ボートレース多摩川をアピールすることで、高グレード競走の誘致に努めるとともに、事業の発展、売上げの維持・向上を図るため、事業管理者と連携し取り組んでいく。
③令和4年度は公園遊具の整備や消防自動車購入、小・中学校の改修等に活用した。施設の解体事業への活用も可能と考える。

優良田園住宅制度について問う
議員 ①優良田園住宅制度の概要とこれまでの取組状況を伺う。
②本制度の導入について伺う。
③東京都へは何度出向いたか。
市長 ①「優良田園住宅の建設

の促進に関する法律」に基づき、都市の近郊地域などの敷地面積300㎡以上等、一定の基準を満たした優良な住宅の建設の許可を可能とする制度である。市街地調整区域における住宅の建築等の許可が可能となることや、農業振興地域農用地区域からの除外、農地転用の許可等について配慮される。青梅市移住・定住促進プランに位置づけ、検討を進めている。関係法令上の権限を有する東京都と協議し、課題を共有して助言を受けている。

②まちづくりの在り方など様々な視点から検討を重ね、移住支援金の加算措置の活用実績なども踏まえて、慎重に進めていく必要があると理解している。
③2回である。

公共工事における
最低制限価格と前払金の
限度額見直しについて問う
議員 ①最低制限価格制度について伺う。市の現状は。



山崎 善信議員
(都民ファーストの会)



②国基準に合せ見直すべきでは。
③前払金制度の内容を伺う。
④前払金の上限金額を見直すべきであると考え、見解は。

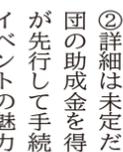
市長 ①ダンピング防止等のため、落札の最低価格を事前に設定する。国基準の改定の都度、見直しの要請が出る。本市の基準は、平成28年のモデルである。平成29年の改定後、失格となる事業者が増えたため、他市の状況等を参考に検討、平成28年の国基準に戻した。現在見直しの予定はないが、引き続き検証し、適正な入札の実施に努める。

③公共工事の事業者負担を軽減するため、着手時点で工事費の一定額を支払うことができる。

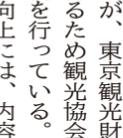
④中間前払金制度等により負担軽減も図っている。見直しの予定はないが、今後の工事価格の見込みや周辺自治体の状況等を引き続き調査・研究し、公共工事の円滑な施工確保に取り組む。

釜淵公園の桜を活用した
観光振興について問う
議員 ①桜の時期の来訪者数、これまでの施策について伺う。
②令和6年のライトアップの実施予定と取組状況について伺う。集客のため、キッチンカーの出店等、イベントの魅力向上を図るべきと考えるが、どうか。

③釜淵公園水泳場跡地周辺等の現在の状況と今後の活用について伺う。イベントを広域の観光コンテンツとして拡充していくべきと考えるが、見解は。
市長 ①平成29年の調査では、3月は3660人、4月は4696人である。動画の公開や見所の紹介、ライトアップイベントなどに取り組んだ。



藤野 ひろえ議員
(共産)



②詳細は未定だが、東京観光財団の助成金を得るため観光協会が先行して手続を行っている。イベントの魅力向上には、内容の充実に取り組みむことが必要であると理解しており、実行委員会で具体的な方法を協議する。

③現在、サウンディング型市場調査を実施しており、河川敷を含めた一体的な活用策を次年度以降決定する。イベント等の拡充については、まず令和6年に効果的な情報発信と地域経済への波及効果を狙った試行的な取組の実施に注力し、関係者とともにイベント全体がレベルアップできるように取り組んでいく。

農産物のブランド化について問う
議員 ①国内・都内のブルーベリーの生産地、自治体PRへの活用状況、市内の生産地区は。
②農産物の活用や周知の方法は。
③農産物のブランド化を支援し

ていくべきと考えるが、見解は。
市長 ①収穫量1位は、国内が東京都、都内が青梅市である。産地の自治体では、ホームページで紹介するなど、魅力発信に活用している。市内の主な生産地区は、新町や藤橋等である。

②直売会や、学校給食での提供など、活用、周知に努めている。
③新規就農者や農産物の高付加価値化に取り組む農業者への各種補助や農地の確保等の支援を行っている。「6次産業化」の支援も含め、今後も農業者やJA西東京、都と連携し、ブルーベリーを含めた青梅市の魅力ある農産物の高付加価値化・ブランド化に取り組む。

所信表明演説の
市政運営の基本方針に関して
藤野 ひろえ議員
(共産)



藤野 ひろえ議員
(共産)



議員 ①公約実現に取り組む決意について伺う。
②新市民ホール建設に当たっては、ワークショップの継続的な開催が必要であるが、見解は。

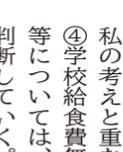
③子どもの居場所を市内全域に確保し、国の児童館ガイドラインも参考に整備してはどうか。
④高齢者の居場所づくりについて現状は。旧沢井保健福祉センターを活用してはどうか。
⑤市民と市長との懇談会の今後の対応について伺う。

市長 ①様々な政策に取り組む、国内外の誰もが憧れるようなまちづくりに挑戦していく。
③子どもの居場所については、確保していると捉えている。国の動向を注視し、子ども施策を進めていく。
④地域サロンを増やしていく。旧沢井保健福祉センターを活用

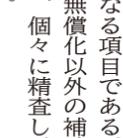
することは考えていない。
⑤誰でも気軽に参加し、意見や要望を言えるよう開催していく。
教育長 ②定期的に実施する。

子育て、教育費負担の
軽減について問う
「学校給食費の無償化と、修学旅行や通学費補助等の拡充を」
議員 ①子育て支援策の現状認識と負担軽減策について伺う。
②共産党青梅市議団が提出した新年度予算編成に当たっての重点要望をどう受け止めているか。
③1月から3月までの給食費を無償にすべきでは。一層の地場産活用について、見解は。

④修学旅行費、自転車通学における自転車購入費および小規模特別認定校への通学費にかかる負担軽減を求めるが、見解は。
市長 ①可能な限り財源を確保し、実施している。本市独自の子育て支援策に取り組む。
②学校給食費の無償化については、公約に掲げた重要政策であり、私の考えと重なる項目である。



片谷 洋夫議員
(フォーラム)



③学校給食費無償化以外の補助等については、個々に精査し、判断していく。
教育長 ③国の交付金が予定されており、2月、3月分の免除を準備している。地場産については、今以上の活用は難しい。
④これまでも一定の補助は行うことができている。今後の対応策については、市長部局とも協議していく。

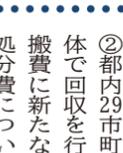
市長 ①様々な政策に取り組む、国内外の誰もが憧れるようなまちづくりに挑戦していく。
③子どもの居場所については、確保していると捉えている。国の動向を注視し、子ども施策を進めていく。
④地域サロンを増やしていく。旧沢井保健福祉センターを活用

市でもパートナーシップ宣言制度など、パートナーシップ宣言制度を導入してはどうか。

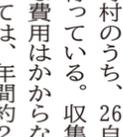
②市職員のパートナーが同性だった場合、男女間の婚姻と同様に福利厚生を受けられるか。
③理解促進の施策を今まで以上に挙げていく。
市長 ①すでに開始している利便性の高い東京都の宣誓制度の中で取り組んでいく。
②本市において職員に対する制度は導入していない。
③満足感、安心感を得て、生きがいのある充実した生活ができる平等な社会の実現を目指していく。

市で充電式電池の回収を
議員 ①本市の充電式電池の廃棄方法について伺う。
②近隣自治体の回収状況は。市が回収した場合のコストは。
③市で回収を行ってはどうか。
市長 ①現在、市では回収していない。市民には、一般社団法人JBR C協力店での無料回収または、処分業者での有料回収を案内している。
②都内29市町村のうち、26自治体で回収を行っている。収集運搬費に新たな費用はかからない。処分費については、年間約250万円が新たに生じる。
③回収を検討していく。

所信表明について問う
「職員体制、不登校への対策、デマンド交通など」
議員 ①専門性を持った職員の育成や配置について伺う。
②人口減少、少子化対策への考えを伺う。
③通信教育やフリースクール、オンライン教育など、新たな学び方への今後の具体的な取組は。
④不登校を支援するフリースクールに補助を行うってはどうか。
⑤デマンドタクシー事業の内容、スケジュール、国等の補助金は。
市長 ①職員が個々に有する資格、知識や経験、職員の特性や希望などを総合的に勘案して配



みねざき 拓実議員
(共産)



認知症の相談体制や予防の
取組などについて問う
議員 ①市における相談体制と強化、周知、啓発について伺う。
②認知症基本法成立に伴う検討認知症に関する問題意識は。
③予防の重要性は。軽度の認知障害(MCI)検査を特定健診に入れることについての考えは。
④補聴器の助成制度の他市の状況は。市でも導入すべきでは。
市長 ①地域包括支援センターの総合相談の中で実施している。認知症支援コーディネーターを配置する等、強化している。広

報や高齢者の暮らしの手引き等で周知、認知症サポーター養成講座等を実施し、啓発している。
②認知症施策推進計画の策定を進めている。認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域づくりが重要である。
③予防への取組により、高齢になっても生きがいを持って日常生活を送れるものと考え、国の基準外であり、実施方法、検査後のフォローなど課題も多い。
④26市中5市で実施している。地域共生社会推進会議での指摘を踏まえ、検討している。

市民の楽しみ場について
「市民センターやスポーツ施設の整備・充実を」
議員 ①市民センターの老朽化対策について伺う。
②市民センターの充実についての考えを伺う。
③スポーツ施設の老朽化対策は。
④エクストリームスポーツのようにならなかつたスポーツ施設の建設について考えを伺う。
⑤スポーツ施設の充実についての考えを伺う。
市長 ①公共施設等総合管理計画に基づき、現状の施設の保全を図りつつ、維持していく。
②市長自ら明星大学青梅キャンパス跡地の購入について、お断りすべきと思うが、考えを伺う。
市長 ①公共施設等総合管理計画に基づき、現状の施設の保全を図りつつ、維持していく。

③市民センターの老朽化対策は、市の責任で対応していく。
④エクストリームスポーツのようにならなかつたスポーツ施設の建設について考えを伺う。
⑤スポーツ施設の充実についての考えを伺う。
市長 ①公共施設等総合管理計画に基づき、現状の施設の保全を図りつつ、維持していく。
②市長自ら明星大学青梅キャンパス跡地の購入について、お断りすべきと思うが、考えを伺う。
市長 ①公共施設等総合管理計画に基づき、現状の施設の保全を図りつつ、維持していく。

③市民センターの老朽化対策は、市の責任で対応していく。
④エクストリームスポーツのようにならなかつたスポーツ施設の建設について考えを伺う。
⑤スポーツ施設の充実についての考えを伺う。
市長 ①公共施設等総合管理計画に基づき、現状の施設の保全を図りつつ、維持していく。
②市長自ら明星大学青梅キャンパス跡地の購入について、お断りすべきと思うが、考えを伺う。
市長 ①公共施設等総合管理計画に基づき、現状の施設の保全を図りつつ、維持していく。

所信表明について問う



鴨居 たかやす 議員 (自民)



議員 ①どのように専門性のある職員を育成していくのか。②「コンサルありき」の意味は。市の職員に対しての思いを伺う。③これまでのモーターポート競走事業に対する評価を伺う。④学校給食費無償化の財源は。⑤オシャレな公共施設とは。⑥観光振興、インバンド対応について伺う。御嶽駅のバリアフリー化は欠かせないと思うが。⑦市民ホールに関する懇談会報告書に対する市長の考えを伺う。⑧市民ホールの運営には、専門家を含めた運営組織、市民による協議会も必要では。市長 ①研修への参加や先進自治体の視察を促進していく。②いわゆる「丸投げ」により、市の考えや職員の発想が活かされないことを表現した。職員は、貴重な財産・宝である。③財源確保の貴重な事業であり、市財政に大きく貢献している。④都の動向を勘案して検討し、早期の実現に向けて取り組む。⑤光や色彩の調度・バランスが良く、落ち着いた雰囲気、誰もがくつろげる施設である。⑥第7次総合長期計画に沿い取り進む。インバンド推進を観光戦略の柱の一つと位置づける。引き続きJR東日本へ要望する。⑦報告書の意見を尊重しながら、今後の整備を進める。青梅の文化を発信する象徴的な施設としての整備にまい進する。教育長 ⑧本市に見合った施設運営ができる持続可能な体制づくりを目指していく。

明星大学青梅キャンパスについて問う



久保 富弘 議員 (自民)



議員 ①所信表明に明星大学の件を入れた理由。②再検討が凍結か、考えを伺う。③今後の明星学苑への対応は。④第7次総合長期計画の将来活用エリアに追加されたが、修正等の考えは。⑤市のまちづくりの上で、ふさわしくない土地利用とは。安心して暮らすための対応策は。⑥市長の明星大学青梅キャンパス跡地に対する評価、認識は。⑦都有地化への働きかけは。市長 ①購入を一旦白紙としたことから、発言を差し控えた。②一旦立ち止まり、再考する。③今後の可能性について話し、諸団体の借入を依頼したい。④修正は考えていない。⑤自然と居住環境に影響がある施設である。関連法令等に照らし、適正に対応していく。⑥広大なスポーツ施設を有し、ポテンシャルも高い。活用には、改修、解体費用が必要となる。⑦選択肢の一つとして考える。

所信表明について問う

議員 ①短期的な実施計画とは。②財政状況の認識について伺う。③公共施設をオシャレで居心地の良い場所にリニューアルするとは。④実施計画の予算、内容、規模は、いつを目標に定めるのか。⑤財政の改善には、経常経費の削減が重要と考えるがどうか。⑥モーターポート競走事業の売上向上に向けたトップセールス。

大勢待市長の市政運営方針について問う



ぬのや 和代 議員 (立憲)



議員 ①市庁舎、駐車場への太陽光パネルの設置について、耐震性再計算の上、再検討をしてほしいが、どうか。②デマンド交通に停留所を多数設けることが望ましいと思うが、どうか。③青梅駅前再開発ビル1階にスパーマーケットを、また、公益床は図書館ではなく、民間の店舗に貸し出してはどうか。④現青梅図書館の2階はフリースクールに貸し出してはどうか。

地域がん診療連携拠点病院としての市立青梅総合医療センターについて問う

議員 ①今年度、機器の入れ替えにより、長期間放射線治療ができなくなった。今後起きないようにするための方針は。②緩和ケアの医師は一人では十分か。③緩和ケアに対する基本方針は、病院事業管理者 ①休止期間中は近隣の医療機関で治療を進めていただいている。機器の入れ替えによる治療等の休止は避けられず、今後も発生するものと考えている。④不足はないものと考えている。⑤当院の基本方針を定めている。

青梅市にはミスマッチの「コミュニティバスではなく、マイタク事業の推進を



鴻井 伸二 議員 (公明)



議員 ①今年度、機器の入れ替えにより、長期間放射線治療ができなくなった。今後起きないようにするための方針は。②緩和ケアの医師は一人では十分か。③緩和ケアに対する基本方針は、病院事業管理者 ①休止期間中は近隣の医療機関で治療を進めていただいている。機器の入れ替えによる治療等の休止は避けられず、今後も発生するものと考えている。④不足はないものと考えている。⑤当院の基本方針を定めている。

明星大学の跡地利用は、多面的、多角的な議論を

議員 ①市長は、青梅市は無計画のまま明星大学跡地を30億円で購入しようとしていると訴えていた。これらの根拠は。②市長選の討論会で発言した、無償譲渡であれば受け取る可能性があるか伺う。③市長と議会の両輪でこの問題に取り組み、情報共有してほしいがどうか。市長 ①無計画とは、明確な活用方針が示されていないこと。30億円は、土地購入と解体費用の見込み。購入しようとしているとは、市側の答弁から捉えられている。②多様な選択肢の中の一つとして考えている。③しっかりと情報共有していく。

オスプレイ墜落事故の対応について

議員 ①市の対応、周辺自治体の対応は。市長の見解を伺う。②市が単独で要請する理由は。基地関係団体への加盟状況、報道機関の扱いに差はあるのか。③連絡協議会を設置しては。防衛施設周辺整備全国協議会等をもっと活用してはどうか。市長 ①基礎自治体としての考えは。②市が単独で要請する理由は。要請文を提出、ホームページにて周知した。基地隣接の市・町長は、都知事と連名で要請をした。事態を重く受け止め、安全性が確認されるまでの飛行停止等を求めた。③協議会は設置しておらず、また、早急と判断し、単独で要請した。「米軍及び自衛隊飛行場周辺航空機事故等連絡協議会」防衛施設周辺整備全国協議会」に加盟している。「横田基地に関

所信表明について問う



野島 資雄 議員 (公明)



議員 ①市長の言われた西多摩の雄とはどのようなものか。②ポツポツと市の国際交流についての市長の見解、思いは。③消防団員の担い手不足を解決するための取組と防災体制のさらなる強化について伺う。市長 ①多くの課題にしっかりと向き合い、解決していくことで青梅市のみならず、西多摩各自治体のさらなる成長を促し、地域住民の生活の質の向上に波及させていくことである。②これまで多くの方が、長い年月を経て大切に紡いできた市の絆は、大変強固で、とても大切なものであると思う。③消防自動車の更新をはじめ、消防団の装備の拡充や訓練の実施方法、器具置場の改修等活動環境の整備、広報活動など様々な協議を消防団本部と行っており、今後も消防団員の確保とともに、負担軽減に取り組んでいく。防災に長けた方が活躍している団体と消防団の連携をさらに深め、合同訓練などを実施し、体制強化を図っていききたい。

女性活躍社会の推進について問う

議員 ①女性の力が生かし切れない弊害にどのような問題があるか。②女性活躍社会推進への思いは。③行政職の部長職に女性がいないことについての考えは。市長 ①社会に損失をもたらしていると考えており、女性ならではの発想や視点などにより、平等で豊かな社会を実現するためにも弊害を取り除き、女性の力を生かすことが重要と考える。②性別や年齢にかかわらず、個性と能力が発揮できる機会が確保され、人々が満足感・安心感を得て生きがいのある充実した生活ができる平等な参画社会の実現に取り組む。③能力のある女性職員が、昇任できるよう、柔軟な働き方のできる職場環境を整えていく。

青梅市ロードスポーツ事業の創設について問う

議員 ①これまでの市道の清掃実施状況は。②市民ボランティアや市内企業による道路の清掃状況は。③ロードサポート事業を創設すべきと考えるが市長の考えは。市長 ①区域を分け、植樹帯や緑地の除草、街路樹の剪定と併せ、業者委託等により計画的に清掃を実施している。②地域の自治会や市民団体、一部の市内企業のほか、個人など数多くの方々によるボランティア活動により担っていただいている。③現状の環境美化活動の状況や、他自治体の取組などを踏まえ、検討していく。

審議された議案および陳情の議決結果

◆賛否が分かれた議案および陳情◆

Table with columns for district, proposal number, name, result, and 24 council members' votes. Includes proposals like 'Meiji City Mayor's Salary' and 'Gasoline Price'.

◆全会一致で可決または同意された議案◆

Table listing proposals approved unanimously, such as 'Meiji City 2025 Budget' and 'Meiji City Fire Department'.

※会派の表示は次のとおりです。[自民…自民クラブ(無所属6人、自民党5人)、公明…公明党(5人)、市フ…市民フォーラム青梅・都民ファーストの会(無所属1人、都民ファーストの会2人)、共産…日本共産党青梅市議団(3人)、立憲…立憲民主党(1人)、維新…日本維新の会(1人)]

◆新病院本館の開院について ◆西館改修工事について

総合病院建設特別委員会

◆東青梅1丁目地内諸事業用地等整備基本計画策定支援業務について ◆文化複合施設ワークショップについて ◆既存施設移転・解体スケジュールについて

文化複合施設整備特別委員会

特別委員会から

文化複合施設整備特別委員会 東青梅1丁目地内諸事業用地等整備基本計画策定支援業務について

特別委員会から 文化複合施設整備特別委員会 東青梅1丁目地内諸事業用地等整備基本計画策定支援業務について

議員提出議案 ガザ地区における平和の早期実現を求める決議

議員提出議案 イスラム組織ハマスによる攻撃を機に、パレスチナ自治区ガザ地区におけるイスラエルとの武力紛争が生じてから既に2か月以上が経過し、この紛争により一般市民、特に女性や子どもに多くの犠牲が生じている。国連総会は12月12日に緊急特別会合を開き、ガザ地区の状況に深刻な懸念を表明した上で、イスラエルとハマスの双方に対し、人道目的の即時停戦を求める決議案を採択した。

議員提出議案 青梅市では、これまでに「世界連邦平和都市宣言」や「青梅市非核平和都市宣言」を行い、世界の恒久平和の実現に向けた取組を進めてきた経緯がある。こうした立場から、青梅市議会は、これ以上人道危機が悪化しないよう、このたびの紛争において国際法に基づく全ての人の解放と即時停戦がなされ、ガザ地区における平和が早期に実現することを強く求める。

◆令和5年青梅市議会定例会令和6年2月定例会会議予定◆ Table with columns for date, time, meeting, and notes.



令和6年能登半島地震 義援金の送金について 令和6年能登半島地震でお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。被災された皆様は心からお見舞い申し上げます。青梅市議会は、令和6年1月19日に令和6年能登半島地震の被災者支援のために、義援金として市議会議員1人1万円(議長は2万円)、計25万円を石川県災害義援金口座に送金いたしました。被災地の早期の復興をお祈り申し上げます。

青梅市議会災害 対心訓練を実施 11月22日にタブレット端末を使用して、地震発生時の全議員の安否確認および地域の被害状況の報告などの訓練を行った後、Web会議により防災課長から「青梅市地域防災計画の概要」についての説明を受けました。



全員協議会から 12月14日に開催された全員協議会での提出事項は次のとおりです。 【市長提出事項】 「青梅市地域福祉総合計画」の策定について ■市立美術館の改修工事に伴う休館等について

普通救命講習を受講しました 12月15日に普通救命講習会を開催し、14名の議員が受講しました。東京防災救急指導協会、青梅市消防団および青梅消防署の方から御指導いただき、万一の事態に備えるための心肺蘇生法等と併せてAEDの取り扱いについて学びました。